

special issue

- ① NTT西日本グループの取り組み
- ② Ambidexterity & Open Innovation

topics

データセンターの地域分散化に向けた新たな支援施策等

award

平成28年度「電波の日・情報通信月間」表彰

info

28年度 電気通信主任技術者定期講習の受講者募集開始

challenge 徳島県立つるぎ高等学校

国家試験「工事担任者」資格取得に向けての取り組み

trend 中国と韓国におけるICT産業の潮流

国を挙げてIoT活性化に取り組む中国と韓国の最新動向

column

「経営層のリーダーシップ」は如何にして発動するのか

| | |
|--|----|
| 理事長就任のごあいさつ | 1 |
| 一般財団法人日本データ通信協会 理事長 酒井 善則 | |
| 日本データ通信協会理事長退任とICT-ISAC理事長就任のご挨拶 | 2 |
| 一般社団法人ICT-ISAC 理事長 齊藤 忠夫 | |
| special issue | 3 |
| ① NTT西日本グループの取り組み | 3 |
| 西日本電信電話株式会社 代表取締役副社長 熊本 敏彦 | |
| ② Ambidexterity & Open Innovation | 11 |
| 同志社大学大学院 ビジネス研究科 教授 北 寿郎 | |
| topics | 15 |
| データセンターの地域分散化に向けた新たな支援施策等 | |
| 総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 データ通信課 光廣 陽平 | |
| award | 17 |
| 平成28年度「電波の日・情報通信月間」表彰 | |
| ●関東総合通信局長表彰／近畿情報通信協議会会長表彰 | |
| info | 19 |
| 28年度 電気通信主任技術者定期講習の受講者募集開始 | |
| 一般財団法人日本データ通信協会 事業推進部長 飯田 秀男 | |
| challenge | 21 |
| 国家試験「工事担任者」資格取得に向けての取り組み | |
| ●徳島県立つるぎ高等学校 | |
| trend 中国と韓国におけるICT産業の潮流 | 23 |
| 国を挙げてIoT活性化に取り組む中国と韓国の最新動向 | |
| 一般財団法人マルチメディア振興センター 情報通信研究部 三澤 かおり、裘 春暉 | |
| column | 27 |
| 「経営層のリーダーシップ」は如何にして発動するのか | |
| 一般財団法人日本データ通信協会 Pマーク審査部 中山 隆 | |
| report | 29 |
| 1. 総務部 2. 迷惑メール相談センター 3. タイムビジネス部 4. 電気通信個人情報保護推進センター 5. Pマーク審査部 6. 電気通信国家試験センター 7. 人材研修部 8. 事業推進部 | |
| local report 動画フェスタin近畿2016 | 31 |

国家試験「工事担任者」資格取得に向けての取り組み

徳島県立つるぎ高等学校

電気科 教諭 小神 宣彦

学校紹介

本校は平成14年2月の「徳島県高校教育改革推進計画」に基づく学校再編により、徳島県立貞光工業高校、徳島県立美馬商業高校を発展的に再編統合し、平成26年4月1日に開校した徳島県で初の「工業科」「商業科」併設の高校です。

徳島県西部に位置し、徳島県では3校ある工業科設置校の1校である。学科の編成は「電気科」「機械科」「建設科」「商業科」「地域ビジネス科」の5科、7クラスの編成である。

旧貞光工業高校時代から資格取得に力を入れており、各科とも1年間を通してその専門性を活かした取り組みをしている。運動部も活発で昨年度は「ラグビーフットボール」、「ソフトテニス」、「陸上」および「少林寺拳法」は全国大会で活躍している。

地元産業にも関わりを持ち、現在は6次産業化への取組として、「工業科」「商業科」が共同で「みまからとうがらし」の栽培、加工、販売にも取り組んでいる。

電気科紹介

1. 電気科の取組と特徴

電気科は昭和33年に美馬商業高校に併設されて以来、多くの卒業生が社会で活躍している。

現在、電気に関する基礎的な知識と技術を習得し、幅広い分野の業務に携わることのできる能力を育てるとともに、資格取得をとおして勤労観・職業観を養い、電気技術者としての実践的な能力と態度を身につけたスペシャリストを育成することを目標に教育を行っている。

卒業後、実務経験を経て全員が電気主任技術者の認定を受けられることを軸に教育課程が編成されている。電気基礎、電力技術、電気機器等、強電科目を中心に電子技術や情報技術教育にも力を入れている。

2. 資格取得の取り組み

1年生は入学後すぐ第2種電気工事士試験を受験する。その後、第1種電気工事士、工事担任者DD第3種や危険



(DD第3種に合格した生徒たち：学校正門にて)

物取扱者試験と受験していく。さらに2年生に進級すると、一部の生徒は電気主任技術者にも取り組む、また、計算技術検定や情報技術検定など検定試験にも挑戦するので在学中に多くの試験を受験し、実践的な資格を取得する。

①第2種電気工事士試験

新入生は入学後すぐに第2種電気工事士の取得に取り組む、新入生は、初めての国家試験受験に真剣に取り組んでいる。

②工事担任者(DD第3種)

強電ばかりでなく、電気通信の分野にも力を入れている。1年生全員が受験し、電気通信についても知識、技能を深めている。平成26年度は31名、平成27年度は43名の生徒が合格した。

③第1種電気工事士試験

夏に第2種電気工事士の試験が終わると第1種電気工事士試験の準備に取りかかる。たくさんの生徒が受験を希望し、目標を持って頑張っている。進度の早い生徒は1年生で合格し、同時に専門的な技術力も身に付けている。

④第3種電気主任技術者試験

この資格は高校生にとって難易度の非常に高い資格で、社会的な評価も高い。在学中に資格取得し就職後リーダーとなり活躍している生徒も数多くいる。また、本校で科目合格し卒業してからこの資格を取得し、資格を活かし活躍している生徒も少なくない。生徒の大きな目標になっている資格である。昨年度は2名の生徒が合格し、徳島新聞に掲載された。

生徒の声



電気科3年 大久保 啓吾

私たち電気科の生徒は1年生の秋に「工事担任者DD第3種全員合格」を目指して取り組みました。一番難しいと思ったのは「技術及び理論」です。難しかったけど、ひたすら問題を解き、わからなかったら友達や先生に教えてもらい、少しずつ理解して問題が解けるようになりました。その結果、初めての試験でDD第3種に合格することができました。

電気通信は次々と技術革新の進んでいる分野です。最先端の技術を学ぶことは楽しいことでもありました。これからもいろいろな資格取得をとおして視野を広げたいと思います。また、この経験を就職活動にも活かしていきたいです。



電気科3年 久保 陵乃祐

私が所属する電気科では、1年生のときに第2種電気工事士と工事担任者DD第3種を全員が挑戦することになっています。工事担任者DD第3種は科目合格をして取得することもできますが、私は一発合格を目指して勉強をしてきました。授業では、先生が作ってくださった対策プリントを用いてひたすら問題を解きました。自分にとって苦手な問題は先生や友達に聞いて、再度問題を解いて克服するようにしてきました。その結果、無事DD第3種に合格することができました。これからもコツコツ勉強して上位の資格にもチャレンジしていきたいと思っています。



電気科2年 森 龍馬

つるぎ高校・電気科では1年生の秋に全員が工事担任者DD第3種に挑戦しています。1学期は第2種電気工事士、2学期はDD第3種に挑戦しますが、放課後は部活動もあり時間が無いため、私たちは授業を大切に、わからないところは先生や友達に聞いたりして理解度を深めていきました。試験日が近づくにつれクラスの雰囲気も受験モードになり、みんなが切磋琢磨できたと思います。私は将来、取得した資格を活かせる企業に就職したいと考えています。これからもさらに上級の資格が所得できるよう、勉強に励みたいです。